

鹿児島商工会議所

令和4年度 経営発達支援計画 外部有識者との意見交換会 開催報告

日 時	令和5年9月21日（木）10：30～11：45
場 所	鹿児島商工会議所 13階会議室
出席者	今別府 忍 氏 （一社）鹿児島県中小企業診断士協会 会長 有馬 勝正 氏 （一社）鹿児島市商店街連盟 会長 橋本 元気 氏 日本政策金融公庫鹿児島支店国民生活事業 事業統轄 田實 英己 氏 南九州税理士会鹿児島県連合会 中小企業対策部長 徳丸 貴之 氏 鹿児島市産業政策課 課長 吉崎 さおり氏 鹿児島県商工労働水産部 商工政策課 団体係長 田中 浩一 氏 かがしま産業支援センター 経営支援課長 事務局 5名
会議概要	事務局より経営発達支援計画の意見交換会の趣旨、鹿児島商工会議所の令和3年度の事業報告の概要について説明の上、経営発達支援計画の取り組みや成果について報告を行った。 その後、出席者より下記の意見、評価及び要望を頂いた。
意見・評価等	1. 事業計画策定支援に関すること <ul style="list-style-type: none">経営発達支援計画の目標について、明確な数値目標を設定しておかないと、個々の施策を実施することにより、経営発達支援計画を行う目的に対し、どれくらい寄与しているのかわかりにくくなる。個々の取り組みは、しっかりとなされているが、その結果が目標・目的に反映されているか検証を行うこと。経営の現場を経験してきた視点から意見をいうと、消費者のニーズへの対応やデジタルを活用した宣伝などで商売を良くしようと試みても、市場は非常に厳しく、消費者にすぐ飽きられる。商売でこれから重要なものは消費者が求めるコンテンツを探すこと。良いコンテンツを探し出すためには、感性を育てることも大切である。今後、商工会議所をはじめとする支援機関の皆様が良きアドバイザーとして、質の良いコンテンツの磨き上げが図れるよう、支援いただきたい。 2. 事業計画策定支援後の実施支援に関すること <ul style="list-style-type: none">事業計画策定後のフォローアップやフィードバックを行い、中小企業診断士、税理士などの専門家や自治体とも連携しながら、時代の変化に対応した支援を推進していきたい。専門家による経営支援を行い、事業の底上げを図ることもよいが、経営分析や経営計画セミナーの開催回数を増やすとともに、事業者自身が計画策定できるように支援することも重要。フォローアップについて、売上や利益が伸びた事業所については、フォローアップの効果についても、事業所へ聞き取りを行い、分析することで、今後、小規模事業者支援の強化につなげてほしい。